



## 卒業式予行終了 ～ きぼう学年 いよいよ卒業 ～

今年も感染予防のために式場内の人数制限や時間短縮が求められ、歌や呼びかけも制約を設けて行わなければなりません。次の4つのねらいを念頭に置いて準備を進めてきました。在校生による校内装飾、式場準備を終え、卒業式の準備がほぼ整い、石崎さんが担当してくれた桜も見事な花を咲かせてくれています。



- ① 卒業生一人一人に対し、卒業の喜びと将来への新たな希望と自覚をもつことができるようにし、全校で小学校の全課程を修了したことを祝福する。
- ② 卒業生は、小学校生活を振り返りながら、家庭・学校・地域社会の人たちに対する感謝の念をもつことができるようにする。
- ③ 在校生は、先輩の卒業を祝うとともに、伝統を受け継ぎ、今後自分たちの学校生活をより充実させようとする自覚と意欲をもつことができるようにする。
- ④ 儀式としての厳粛で清新な気分を味わわせ、集団の場における規律と気品のある態度を育てる。

昨年の同時期にも増してコロナの感染状況がせまってきておりますので、一堂に会しての練習は行わずに本日の予行を迎えました。各学級で覚えてきた式の流れや動きを確認し、直ぐに予行を行いました。練習を重ねてきた6年生の立派な姿を前に、在校生も緊張感をもって参加できたので、本番さながらのできばえで、目標達成を十分に予感させるものでした。

15日(火)は本番となりますので、体調を万全にして当日を迎えさせたいものと思います。



卒業式予行：卒業生の呼びかけの中の歌「沈丁花」とそれを初めて聞く在校生の様子です。